

長崎外国語大学・長崎外国語短期大学だより

# WW ぶどうの樹



発行者 長崎学院  
 企画・編集 総務課企画広報係  
 〒851 2196  
 長崎市横尾3 15 1  
 TEL095 840 2000(代)  
 FAX095 840 2001  
 kikaku@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

## 他者への愛と奉仕



長崎学院理事長

### 松本 汎人

学校法人長崎学院の創立から、本年は六一周年にあたります。

鎖国の江戸時代を通じて、唯一西欧に開かれた窓口であった長崎の街は、たつた一発の原爆によつて廃墟となりました。その灰燼くすぶる中で本学設立の準備はスタートしました。学業半ばにして戦場に駆りたてられた若者たちは、挫折感と絶望のため虚脱状態にありましたから、何よりもまず教場を用意して彼らに学ぶ意欲と喜びを取りもどさせ、復興へと立ち上げさせることが目的でした。そして戦前の教育への反省から、世界的な視野に立つた教養を身につけた人物の育成こそ急務であると、外国語学校として設立されたのでした。

以来、この学園を築立つて教育界、実業界など県内外のさまざまな分野で活躍する卒業生は一万一千名をこえています。

長崎学院の建学の精神は、キリスト教の世界観に基づいています。学院の標語として「道・真理・命」(ラテン語でVIA VERITAS VITA)は、新約聖書の一節「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない」によつています。すなわち、神と人との和解者であるキリスト・イエスの信仰に基づき、「他者への愛と奉仕」を實踐してゆける人間の育成を目指しています。言いかえると、まず自己(主体)を確立し、異なるもの、思想や文化などを受容しつつ、人々に仕える心を育てるといふことです。

人が他人を理解するための第一歩は「話しあう」ことです。「ことば」はそのための最も有効なツール(道具)です。まして育つた地域や国、民族が異なるときには、以心伝心は成り立ちませんから、相手のことばを学ばなくてはなりません。ことばの学びは当然のことながら、その背景をなしている歴史や文化に触れることもあります。こ

うして生まれた絆は相互の理解を深め、互いに尊敬しあう友情を育てます。そして、ことばを介して堅く結ばれる友情は、当人たちだけの関係に止まらず、民族や国相互の友好を築く基盤ともなります。

長崎は地理的にもアジアの中心に最も近く、街の持つ国際性は四百年以上の歴史を経ています。こうした環境のもと、中国をはじめアジア各国、アメリカ、ヨ

ロッパ諸国からの留学生は百数十名におよび、彼らと同じキャンパスで学び、交流できるのは、長い伝統ある本学院だからこそです。さらに学生たちには世界各地の大学への長・短期留学の制度が整っています。

本学院に学ぶ学生一人ひとりが社会人としての基礎的な素養を身につけ、複数の言語によるコミュニケーション力を磨き、尊敬される人として成長してくれることを期待しています。そのためには、保護者の皆さんのご理解とご支援が必要なのは勿論ですが、同窓のみなさんの積極的なご協力を切に願っています。



長崎で外国の言葉と文化を学ぶ！それはなんと意味深く、魅力的なことでしょう。長崎は古くから東アジア諸国との交易で栄え、一六世紀のポルトガル船来航以降は海外貿易とキリスト教伝道の中心地となり、鎖国時代は西洋文明に開かれた唯一の窓として、近代日本の摇篮の地でした。異文化との交流がどれほど豊かな実りをもたらさずか、長崎の歴史はこれを雄弁に物語っています。

しかし同時に、長崎は広島と並んで世界に類のない原爆被災地です。その意味で長崎の町は、民族や国家の争い、異文化の衝突が、いかに悲惨な結果をもたらすか、その証でもあると言えます。まさにその終戦の年、キリスト教精神に基づき世界平和を祈念して本学の礎は築かれたのです。この事実も決して忘れてはなりません。



## 長崎から世界へ 語学力と人間力！

学 長  
**池 田 紘 一**

私は奇しくも本学創立六十年に当たる昨年学長に就任しました。そして新たな船出に際し、「長崎から世界へ」、「二十一世紀の出島、長崎外国語大学・長崎外国語短期大学」を旗印に掲げました。「長崎」と「外国語」、この結びつきの特別の意義を自覚し、本学の外国語教育に新たな時代を切り開こうという掛け声です。昔作られた校歌にはこうあります。「歴史の港、鎖国の窓に、海は世界の友を呼ぶ、海は世界を結ぶ糸、あゝ友よ胸賑れ、外語こそ、次代を担う学園なり。……東西の言語修めて、ひたぶるに、求めて尽き、世界の世界の文化を築く」といふのであります。同時に私はもう一つの旗印として、「語学力と人間力」を掲げました。小さな大学の

良さを生かし、少人数クラスによる徹底した語学教育を通じて語学力を鍛える。これは「外国語」を標榜する本学の第一の使命です。

しかし外国語の力は、人間力に裏づけられてはじめて物を言います。自立した人間として、自ら考え、計画し、実践する力、また他の人間と真摯に対話し、協力して何事かを実現する人間的な底力、これを身につけることが肝心なのです。それが大学で学ぶ意義であり、社会もまたそれを求めています。そしてこのような人間力に語学力が加わったときに、語学力は輝き、活きるのです。

本学が推進している留学制度の充実も、単に語学力を磨くためだけでなく、文化も習慣も異なる外国で一人で生き抜くことよって人間として大きく成長することに主眼を置いていきます。

以上の二つの旗印のもとに、本学は平成一九年度からカリキュラムを刷新します。大学では英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語の各コースの充実を図り、新たに「比較社会文化コース」を設けます。短大は、学生の将来の進路に明確な展望を与えるべく、「こども英語」

と「キャリア英語」の二コース構成としました。大学教育の充実はしかし、学生、教員、職員の力だけで実現できるものではありません。何よりも保護者の理解、そして同窓会を中心とする卒業生の叱咤激励と支援が必要です。学報を発行し、わが大学の現状をお伝えしようという企画も、保護者や同窓生との絆を強めたいという願いから出たものです。

私も学長として、「長崎に外語あり」の矜持と責任を胸に微力を尽くす覚悟です。

## 『2006年学長は語る』 発行案内



一	二〇〇六年度(平成十八年度)入学式致辞
二	人間的な底力と意気を示せ 語学力と人間力に秀でた国際人の養成
三	他国に通じ相手を受け入れ 自己主張できる「人間力」を
四	時津町とのパートナーシップ
五	陸のベニス 長崎
六	外国語での会話 まず、自らを知ること
七	留学生の思い 「掛け軸」に見る志
八	激怒と添削 留学生生活を支えたもの
九	「ちびっ子サッカーフェスティバル」に拍手を送る
十	

二〇〇五年度より就任した池田紘一学長が二〇〇六年度の前半期を中心に各所で発表した原稿を編集して、一冊の小冊子としてまとめました。

### 学長プロフィール

池田紘一(いけだこういち) 一九六七年九州大学大学院文学研究科博士課程中退。神戸大学、鹿児島大学、九州大学で助教授・教授を務め二〇〇四年三月定年退官。この間、九州大学文学部長、日本独文学会西日本支部長などを歴任。九州大学名誉教授。専門は独文学・深層心理学。

# 語学力とは

学部長 戸口民也



語学力とはなんだろう。

言葉はコミュニケーションのため  
の手段である。そして、コミュニケー  
ションの基本は人と人との会話にあ  
るとすれば、会話能力は語学力をは  
かる重要なものさしとなるだろう。

だが、会話といつてもその自身が  
問題である。日常生活で用いられる  
挨拶や簡単な表現なら、たいして勉  
強はいらない。数週間から数ヶ月で  
とりあえずは覚えられる。

ここは外国語大学だから、学生た  
ちにはもう少し高いレベルの会話力  
を身につけてほしいと思う。たいて  
いのことなら外国語で必要な意思疎  
通ができるレベルとさしあたり言っ  
ておこう。そのための訓練はキャン  
パス内でも十分できるし、半年か一  
年間留学するならなおよい。留学シ  
ステムはしっかり整っている。

しかし、もっと専門的な高いレベ

ルの会話があることも忘れてはなら  
ない。たとえば政治や経済、歴史や  
文化について語る場合を考えてみれ  
ばよい。専門用語はもちろんのこと  
その分野にかかわる知識や経験を総  
動員しながら、言葉では表現しにく  
い複雑微妙なことまで必死になって  
伝えようと努力することになる。ま  
さにこれは、自分の語学力の限界に  
挑戦する行為でもある。

文法・読解という世間では評判  
が悪いが、この訓練をしっかりとやっ  
ておかないと高度なコミュニケーション  
能力は身につかない。専門性  
の高い会話には専門知識が必要であ  
り、専門知識は主として専門書・こ  
の場合には原書・を読むことを通じて  
身につけるものである。文法・読解  
力は必須の条件なのだ。

専門書はおろか新聞も満足に読め  
ないのに高いレベルの会話ができる  
はずはない。本物の語学力を支える  
基盤は、実は文法・読解力と専門的  
知識そして、もうひとつ大切なもの  
を加えるなら、教養であるというこ  
とを改めて認識すべきだろう。

平成十七年十二月に本学院は創立  
六十周年を迎えました。長崎外国語  
短期大学の卒業生は既に一万人を超  
えています。

平成十三年四月に大学を開学した  
際に、短期大学は英語学科として新  
しいスタートを切りましたが、平成  
十九年度からカリキュラムを大幅に  
変更することになりました。

まず、今までの英語教育の伝統を  
生かしながらも、変化する社会に対  
応するために、「こども英語コース」  
と「キャリア英語コース」の二つの  
コースを置き、学生指導に当たります。

小学校での英語教育必修化の流れ  
の中で、幼稚園から中学生までの子  
供に英語の楽しさを教えることを  
「こども英語コース」では学びます。  
このコースでは、中学校の教員免許  
状の取得に加え、保育士の試験対策  
もバックアップするカリキュラムに



# 進化する短大

英語学科長

加島 巧

しています。

「キャリア英語コース」では、観  
光・ホテル・エアライン関係のこと  
が勉強できるように科目を揃えまし  
た。英語に加え、韓国語を集中的に  
勉強することもこのコースの特徴で  
す。また、添乗員が必要とする「旅  
程管理官」の資格も在学中に取得で  
きるように現在努力しています。

短期大学は二年間という時間の中  
で将来のことを考えなければなりま  
せん。入学時から自分のキャリア形  
成を考えることは大切なことです。  
その意味で、新カリキュラムでは、  
キャリア形成の科目も充実させまし  
た。四年制大学編入も長崎外国語大  
学には内部推薦制度もあり、毎年こ  
の制度を利用して三年次編入を行っ  
ています。

教員スタッフは現在十一名です。  
平成十七年から木原直美講師とリ  
チャード・ホドソン講師の二人を、  
平成十八年からは横山悌志教授を新  
たに迎えました。残念なことに長年  
本学で教鞭を取られたロレッタ・ロ  
レンツ教授が来年の三月で専任とし  
ての教職活動に終止符を打たれます。

# 教育の新しいコンセプト

「語学力」を鍛え、本ものの教養と、生きる知恵と、実践的行動力に裏付けられた「コミュニケーション能力」を身につけるために、教育内容の明確化と充実をはかり、特色ある外国語大学、外国語短期大学へと大きく変貌しました。

## 大学

\*これまでのイギリスとアメリカに分かれていたコースを「英語・英米文化コース」に一体化し、英語関係教員の総力を結集して、英語力の飛躍的なレベルアップをめざします。

\*これまでの外国語・外国文化を学ぶ各コースの他に、特定の外国語と地域文化の枠を超えて異文化間の社会と文化を比較研究する「比較社会文化コース」を新設しました。

### 英語・英米文化コース

英語・英米文化コースは、二〇〇七年度から新たに三つのプログラムを導入し、高度の英語コミュニケーション能力の養成を目指します。「COREプログラム」では、基礎から中級までの英語力を徹底的に鍛えます。「ACEプログラム」では、上級レベル

の学生を対象に英語を使いこなす訓練を行い、総合的に英語コミュニケーション力を高めます。さらに英語力をビジネスや観光の分野で活かすために、より実践的な「国際ビジネス英語科目群」を設けています。

### 比較社会文化コース

現代は国際化、グローバル化の時代といわれます。しかしそれは世界が共通の価値観に立って一色になるといふことではありません。世界の国々や民族の関係が近くなればなるほど、価値観の衝突や文化摩擦の危険性が増大します。それを克服するにはまず何よりも互いをよく知ることです。「比較研究」はその最良の道の一つです。

本コースでは、言語、文学、民俗、法、宗教、歴史、教育などに現れた具体的な社会的・文化的現象を、差異と共通性、影響関係などの観点から

ら、日本と諸外国との比較を中心に学びます。

特定の言語や地域の境界を越えて複眼的・多角的にもものを見る目を養うこと。これが本コースで学ぶ最大の意義です。

## 短大

\*これまでのコースを再編して「こども英語コース」と「キャリア英語コース」の二コース制とし、受験の段階からどちらかのコースを選び、明確な目的意識をもって勉強するシステムにしました。

### こども英語コース

おとなりの韓国では、十年ほど前に小学校で英語が教えられるようになりました。フランスやドイツなどのヨーロッパの国々においても、早い時期から英語の学習がスタートしています。日本でも小学校での英語必修化の動きなどを考えると、早い時期からこども達が英語に接する機会が、今後、ますます増えていくと考えられます。

こども達に英語を教えるには、高度な専門的知識や技能が必要です。「こども英語コース」では、さまざまな角度からこどもを理解していきます。

こどもの心の動きや集団での行動パターンなどです。こどもの立場から英語の教え方を研究し、どのようにしたらこどもたちに英語学習の楽しさを伝えることができるかを学んでいきます。実習を意識した形で二年間の授業が進行していくので、こどもに英語を教えるエキスパートを育てることが可能となっています。そこでは、保育士の資格をとるための準備も行われ、保育士試験対策のバックアップも充実しています。

こどもは社会の宝。さまざまな可能性を秘めています。その可能性を英語に触れさせることにより広げることができるとなれば、これほど素晴らしいことはありません。このような願いのもとに「こども英語コース」を設けました。

### キャリア英語コース

二十一世紀の国際化社会、観光・ホテル・エアライン業界において、英語はもはや外国語ではありません。各国の人々を結ぶ「世界の共通語」です。時代の流れを受け、各企業は、今、競って高い英語力を持った人材を探し求めています。これほど英語を話す人が増えているのに、なぜ企業は今も英語ができる人材に

こだわるのでしょうか。それは、本当の意味で英語を「使える」人がまだ不足しているからです。現場で使える高い英語力。この英語力がモノにできる「キャリア英語コース」が二〇〇七年度カリキュラム再編によって実現しました。二年間で徹底的に基礎から実践までをたたき込み、現場での即戦力を鍛えます。

本コースではさらに、「韓国語」を集中的に勉強します。観光・ホテル・エアライン業界で英語ともうひとつの言語を使える人に熱い視線が注がれています。昨々までの韓国語カリキュラムをパワーアップさせ、本場韓国での実習・留学も盛り込みました。現場で使える英語力を備え韓国語もできる、そんな人材を育成します。

